Smart, Interconnected Tools

テスト車両がテスト実施を補助するようになりました

「エンジンを始動してください。ギアを選択して毎分 2,000 回転まで加速してください」と、ドライバーに指示が出ます。しかし、ハンドルを握っているのは決して運転の初心者ではなく専門家、それも経験豊富なドライバーでありソフトウェアツールおよびメソッドの開発者でもある Martin Bauer 氏です。同氏はエンジン管理システムの最新ソフトウェアバージョンおよびそのデータセットのリリーステストを実施しているところで、このテストではテスト車両自体が ETAS LABCAR-AUTOMATION テストケースに基づいて同氏に指示を出しています。

ある晴れた朝。シュヴィーバーディンゲ ンにある Bosch テストトラックを走る 赤いデモ車両には最新のエンジン ECU ソフトウェアバージョンが搭載されてい ます。しかしドライバーは、必要なテスト ケースを通常のリストに従って順にテス トするのではなく、車両というより、 Martin Bauer 氏とそのチームが開発し to [Test Automation for Car] (TAC) システムにアシストされて運転していま す。各テストステップはディスプレイ画 面に表示され、それに伴って「時速 40km まで加速してください」などといった指 示がラップトップの音響システムから出 されます。このように TAC が支援してく れるので、Bauer 氏はトラック上でテス トドライブと車両の挙動に完全に集中で きます。さらに、このシステムのおかげで テストレポートの生成も簡単になりまし た。すべてのパラメータは自動的に記録 され、またあらかじめ設定した許容範囲 外の結果となった場合にはその旨がテス トレポートに編集されます。このように テスト手法が効率化されるだけでなく、テ ストレポート生成の自動化やパラメータ の自動評価をより迅速に行えるようにな りました。「実際、これらの定型業務に必 要な工数が少なくなったので、かなりの 時間の節約になります。これは、高価で希 少なデモ車両をテストする場合に非常に 有利な点です」と、Bauer 氏は話してい ます。同氏はテスト自動化の開発プロ

ジェクトマネージャーとして、「適合効率 を、日々のタスクの域を越えて世界規模 で向上する | という EAM 事業部の目標 に常に焦点を合わせています。すべてのテ ストケースは LABCAR-AUTOMATION を使用してさまざまなテストチームによ り作成され、これらは ETAS LABCAR-OPERATOR テスト環境で実行されます。 つまり、テストケースを ETAS LABCAR HiL システムで使用する場合でも実車で 使用する場合でも各環境に最適化する必 要はありません。この一貫性により両ド メインの情報が関連付けられるので、誰 がテストを実行しても同じ結果が期待で きます。また、このような再利用性は膨大 な準備時間を節約でき、品質を向上する ことができます。また、ETAS の INCA 適 合ツールおよび ES590 インターフェー スモジュールへのインターフェースも、ど ちらの環境に依存することなく使用でき

TAC は単純なシステムのように思われるかもしれませんが、実はたくさんの専門知識に支えられています。このシステムは、すべてのコンポーネントおよびツールの連携が円滑に行われて初めて、確実に機能して優れた性能を発揮することができます。これを実現するために、Boschの Diesel Gasoline Systems 部門がBosch エンジニアリングおよび ETAS と密接に協力することにより実現しています。



「私たちのコラボレーションの成功やETAS ツールのオープン性などが幸いして、TAC は非常にうまく機能しています」と、Martin Bauer 氏は認めています。「私たちの毎日の業務においても、さまざまなシステムのスマートネットワークで作業効率を大幅に向上したことが確認され、私たちはこのことに本当に励まされています。」



